

料金後納
郵便

ゆうメール

やまもり通信

NO. 241 2023. 1 認定NPO法人恵那山みどりの会



明けましておめでとうございます。

1月10日（火）炭窯開き 9:00 雑木林窯
皆さんぜひお越しください。

ホームページ

恵那山みどりの会

検索



新年を迎えて

理事長 河内龍二

新年おめでとうございます。

会員の皆様には良いお正月をお迎えになったこととお喜び申し上げます。

昨年もコロナ禍で思うような活動が出来ませんでした。徐々にウィズコロナという機運で徐々に活動を再開してきました。年初は前年末に再開した市民門松づくりを受けて、中津川河川敷でどんとを実施し、新年を寿ぎました。7

月の総会で理事長河内龍二、事務局長正木宏之という新体制を発足し、なかなか慣れない運営でしたが、20周年の折り返しでどう進めればよいか「あかまんま」での合宿研修会で大いに皆さんの意見を出し合いました。その成果は雑木林窯での炭焼き再開に結び付けました。

高原理事が病気で亡くなられたことは大変残念でした。彼女の逞

しい行動力を想うと残念でなりません。しかし、また新しく原新理事を迎えることが出来ましたことは大変心強いことです。高齢化に伴い、当会の活動を支えていただいた先輩のH・Hさんも11月亡くなられました。私が入会した時には優しくいろんなことを教えていただきました。あのグループのような手、優しいまなざしは忘れられません。当会は近藤愛子さん、Hさんをはじめとした個性的な諸先輩の努力と熱意で支えられてきました。

当会の活動は社会状況の変遷に伴い、活動も変化してきています。当初の森の間伐をして中津川の健全な森を守るという目的から、市民の生活の安全を守る社会貢献活動に変化してきています。しかし、近年の異常な気候変動や世界的なSDGsの高まりの中で、今一度初心に還り、改めて森の保全活動にも目を向けていかなければなりません。大規模な間伐作業はしな

くても、森の保全に関する活動を今後推進しなければなりません。先輩たちの遺志を受け継ぎ、作業活動を含め、啓蒙や啓発提言広報など、いろんな角度から森の保全活動を推進したいと思っています。

10月には中津高校生に向けた森のSDGs講座、中央公民館と連携したミニ門松づくりなどを実施しました。新たな試みで会の活動を知ってもらえる場となる事を願っています。今後は各部門が失敗を恐れず、新たな活動目標を自ら立案し、イベントや講座を活性化し、仲間を増やしながらその目的を達成していきたいと思います。

今年は兎年です。この年は芽を出した植物が目に見えて大きく成長する年だと言われています。また、兎が飛び跳ねるがごとく、飛躍の年で、たくさん子供を産むことから、豊穡の年ともいわれています。当会も卯年にさらに飛躍したいと思います。

森づくりだより

早川宏之

この時期は例年、伐採の依頼作業が多くなる。天候にも左右されるので日程調整に苦労する時期でもある。

茄子川平野宅 庭木伐採作業

10/18 (火) 二名

庭の両端にある広葉樹と桧の伐採作業。支障となる柴は依頼主が処理してくれており、広葉樹の伐採から取り掛かる。

チルホールは伐倒に支障とならない位置にある広葉樹に設置し、想定通りの位置へ無事に伐倒した。枝ぶりが良く、伐倒後の処理にかなり苦労した。

桧を伐倒した広葉樹側に倒すのに、そのまま倒すと隣家に支障となるため、上部を切り落とし、依頼主の庭の範囲内で処理を完了した。

住宅の庭先での作業であった

が、天候にも恵まれ昼過ぎに無事終了した。

苗木佐々木宅庭木伐採、剪定作業

10/19 (水) 六名 20日 (木) 五名

桧、松、柿等数本の伐倒と枝の伸びすぎた椿・紅葉等の剪定作業である。

六名がそれぞれ得意とする伐倒・剪定作業にそれぞれ取り掛かり、数本の伐倒を残して一日目を終えた。

二日目は、残りの伐倒及び前日の作業で出た枝葉や伐倒材の運搬集積を行い、午前中に作業を終了した。

翌日に搬出を行う予定であったが、雑木林窯への進上路が市水道局の試掘工事により通行止めとなり、やむなく延期せざるを得なくなった。そして、十一月一日火曜日に五名の参加を得、クレーン付きトラック及びダンプをお願いして、時々小雨がぱらつくあいにく

の天気の中、トラックとダンプ四往復、軽トラ三往復で、昼過ぎに搬出を終了することができた。

さすがに剪定した枝葉はかさばる。しかし、小雨のぱらつく中昼過ぎに作業完了させるとは、恐るべし恵那山みどりの会の会員達。まだまだ若い証拠かな？

阿木新宅家 裏山桧外伐採作業

10/2 (水) 4 (金) 各三名

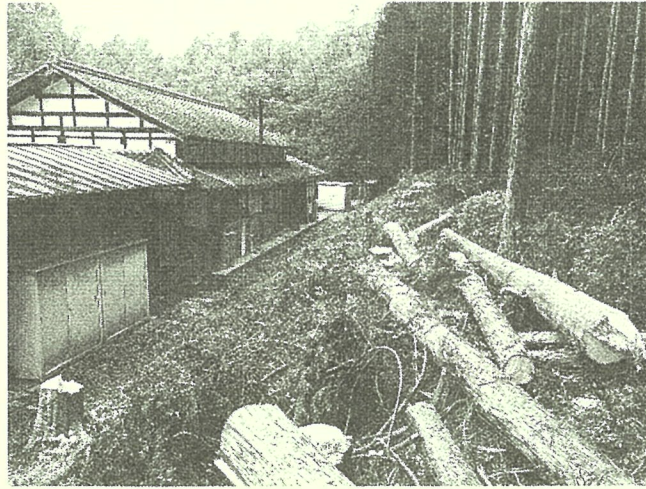
住宅に接近した桧一列、約一〇本、並びに広葉樹四ほどの伐採作業。

住宅の反対側へチルホールを設置し順番に伐倒していく。桧の植林地で間伐はされているが、それでもかなり木となる。うまく狙った間へ寝てくれると気持ちが良い。

桧を伐倒した後広葉樹に移るが、枝ぶりが良いためやはりかなり木となる。低いところから出ている枝がかかっている場合は、慎重に動きを見ながら枝払い処理を

していく。

桧の伐倒に一日半、広葉樹の伐倒に一日で無事終了した。

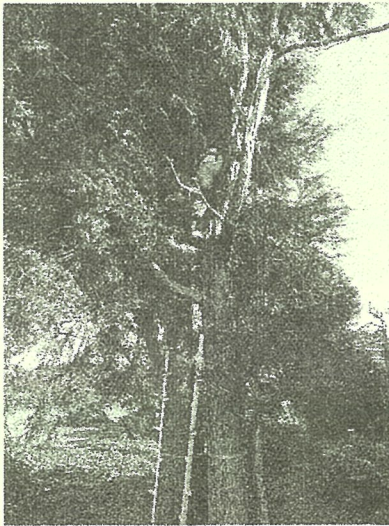


西諏訪巾宅 庭木伐採

11/9(水)～10(木)各三名
作業の依頼は春先であったが、
天候や当方の日程が合わず、この
時期の作業となった。

お年寄りのご夫婦だけのお宅の
為、いつの間にか大きくなった
木々が気になり、伐採の依頼とな
った。

初日は、家の周りの多くの小さ
な木立を伐採し、2日目は大木数
本の伐採となった。うち2本は隣
接しているヒノキで上部で枝同士
が絡み合い、先ずは上に登り、枝
の整理をして、本体の伐倒となっ
た。今回は倒せる場があり、無事
処理することが出来た。依頼主か
らの追加作業も終え、感謝されて
作業を終了した。



辻原小池宅 田んぼ法面草刈並び
に竹林整備

11/14(月)・16(水)各三名

十四日 いつも依頼される小池家
の田んぼ三面の法面の草刈りであ
る。三名がそれぞれの田んぼに分
かれ作業を行う。

法面という斜面での作業である
ため、姿勢が不安定となり、また
所々に大きな石があったり、木が
植わっていたりして少々面倒な作
業であった。また、道路に面した
箇所は通行する車がそこそ有
り、かなり気を使う作業となっ
たが、昼過ぎに何とか終了するこ
とができた。

十六日 三年ほど前に依頼を受
けてほぼ皆伐した榎林家裏の竹林
整備である。

今回も十本ほど残して伐採して
ほしいという依頼であり、はじめ
に残す竹を適当に選び印をつけ
る。その後、三名が適当に分かれ
作業を開始する。

孟宗竹でかなり太いものもあり、伐採後の集積に少々手間取りながらも、予定通り一日で終了することができた。

日の出町村松宅 庭木伐採搬出

11/17(木) 四名

町中の住宅で軽トラも入れない庭先の作業のため、搬出は依頼者の一輪車を借りての手運搬となった。

根元からの伐倒は十五センチほどの松一本で、あとは剪定ということであるが、素人集団のため依頼者の意向を確認しながら適当に切りそろえた。伐倒、剪定をする端から一名が一輪車で軽トラに積み込み、二台分を作業中に一度搬出した。

最後に入り口付近の柿の木を、依頼者の意向を受けながら枝払いを行い、午前で作業を終了した。

辻原小池宅 裏庭の庭木剪定搬出

11/24日(木) 三名

何回か剪定してある裏庭の庭木の剪定もどき作業である。それぞれ庭木に取り掛かり適当に剪定作業を進める。

昼頃にある程度できたが、切った枝の処理が面倒であった。午後から庭先に集め、軽トラ二台に積み込み搬出し作業終了した。

千旦林小林家 濃飛横断道路新設に伴う支障木並びに桑の木伐採搬出

11/28(月) 四名

濃飛横断道路が小林家の近くを通ることとなり、一部の庭木が工事の支障となるため伐採依頼があった。

十五、二十センチほどの馬酔木・紅葉等の木が三本ほどあり、それぞれ伐採枝払いを行い軽トラに積み込み搬出した。

別に畑の中に桑の木があり、高さは二メートル一寸であるが、そこで切られているため直径は四十センチ強であった。これも伐採

し、午後から玉切り搬出を行い作業終了した。

2022年の作業を終わって

本年も多くの作業依頼があり、木に関する困りごとを解決するこ
とが出来たが、気候変動のせい
か、春先から夏の天気が不順で、
日程がつかず、依頼者にご迷惑を
おかけした。

ほとんどの作業はいわゆる間伐
作業ではなく、家の周りの支障木
伐採、庭木の剪定や除去、草刈り
など身近な困りごとの解決作業だ
った。

チップパー機の更新こそ出来な
かったが、寄付金により、修理や補
修部品の調達が可能になり、本年
も多くの作業が出来、寄付をして
頂いた多くの方に感謝したい。

作業は、会員の高齢化により、
5、6名が交代で取り組むことにな
り、ご苦勞様でした。今年こそ
は少しでも会員を増やし、参加し
てもらいたいものだ。

【定例作業日誌】

森林資源活用部 伊藤 守

十月十一日 (火) 晴れ 六人

薪置き場での土運び。

十月二十五日 (火) くもり 五人

薪置き場での土運び。

十一月 八日 (火) 晴れ 四人

薪置き場での土運び。

十一月二十二日 (火) 晴れ 七人

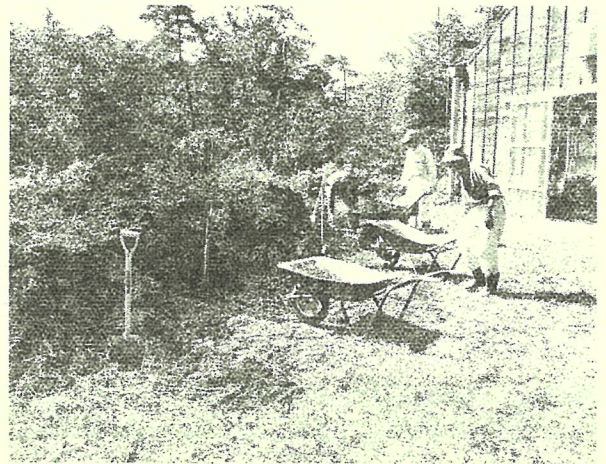
雑木林窯で炭焼き準備

十二月十三日 (火) 雨 五人

雑木林窯の屋根補強

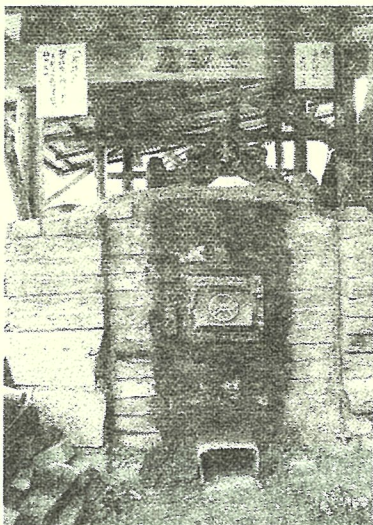
七月に薪置き場の前にでーんと積まれた土砂の移動を依頼された。素人判断では、二十立方メートルぐらいあるのだろうか。移動先は、通路は狭く土木機械の利用は難しい場所。この仕事は、人力でする仕事ではないという意見もありましたが、涼しい秋になったら試しに一輪車を使い人力でやってみることにしました。

涼しくなった十月の定例作業は、土木作業。スコップ・一輪車を使い慣



十月としては暑い日バテました。

れない土砂の移動。最初は、皆さん生きよい良くスタートしたが、暫くすると動作がゆっくりとなって来た。スコップでの作業は、慣れないと腕が疲れ、腰が張り、息が上がってしまふ。肉体的労働には、リズム・テンポが必要なることを痛感。こんな所から仕事歌・労働歌が自然発生的に出来たのだろうと理解できた。作業終了時には成果が見られ、テンポは遅くても力を集中すると人力も侮れないことを知る。



来年一月の炭窯開き行うために炭焼きの準備に入った。六月に二十几年来に雑木林窯使用で不備な箇所が見られたので整備することにした。窯内部のひび割れを赤土で補修。煙突を神坂窯のステンレス製の物に取り替えた。炭窯の正面は、右に「森の自然学校 炭焼き小屋」と言う額が掛かり、上部には「炭焼き」と書かれた看板が掛かった。その下に火事が起きないよう『水』と文字を配した鬼瓦が設置された。

田口先輩指導の下十一日に点火、炭焼きは順調に進み十五日に窯止めを行った。先回よりも良い物が出来ると良いのだが、窯開きが楽しみだ。

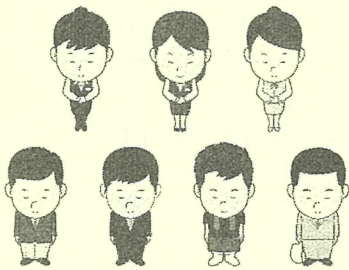
★「認定NPO」の期間満了に伴い認定の更新をしないことになりました

今年の4月11日で認定期間が満了します。更に5年間の更新をするか理事会で議論した結果、更新をしないことになりました。

4月11日までは認定NPOとしてご寄付いただくことが可能で、税額控除の恩典が受けられます。

4月12日以降は認定NPOではなく、通常のNPO団体として活動しますので今後ともご支援ご協力をお願いします。

現状も財政的に不安定であり、皆さんのご寄付をお願い申し上げます。



「認定NPO」の不更新について
ご理解をお願いします。

理事長 河内 龍二

当会では、今後の更なる飛躍を期して2018年4月12日より「認定NPO」となり、2023年4月11日の5年間の期間を満了すことになりました。については更に5年間の更新申請をするかということについて理事会で議論を重ねてきましたが、今回更新しないことに決定しました。

認定化を推進した理由には3つの理由があります。一つには、認定化を受けると、寄付者に税額控除の恩典の可能性があり、寄付が集まりやすくなる事により、財政上のメリットがある事。二つ目には認定化を受けると対外的な信用度が増し、我々の活動にも幅が増すのではないかということ。三つ目には信用度が増し、会員の増加が

見込めるという期待がありました。

認定化を継続するには正会員およびその親族を除く市民から毎年50人以上から3千円以上の寄付を頂く必要があります。賛助会員は寄付会員として認められ年会費2千円に千円を上積みして頂ければ、認定化要件の寄付者として認められ、毎年上積みをお願いをしてまいりました。お陰様で、寄付者の大半が賛助会員の方のご支援で、役員も企業や伝手をたどって寄付のお願いをし、この5年間何とか50人以上の寄付者を確保してきました。しかし、毎回同じ方に支援をお願いするには精神的な負担が少なからずあります。残念ながら役員も高齢で今どきのSNSを使った寄付の手法にも慣れず、ひたすら頭を下げての寄付活動でした。一方、年度末の県への煩雑

な報告も大きな負担となっていています。

また、「認定NPO」という概念もまだ中津川市では企業も市民の中でも浸透していないので、当初期待していた信用度や活動について的一般市民への訴求力は残念ながらあまりありませんでした。

ふるさと納税制度のような対価が自然環境保護を訴える活動にはありません。未来への投資ということはまだ一般市民には縁遠いのかなという感があり、このことが我々の活動をもっと深めていかなければと反省させられます。

役員会では、たとえ認定NPO法人でなくても、今まで20年間築いてきた実績があることは事実であることと、さらに常に社会貢献を理念に掲げ、自然環境を守ることを大きなテーマに山づくり、森づくり、人づくりを「認定」であるかどうかに関係なく誠実に実行

することを理事会の総意として確認をしました。

以上のような状況を総合的に勘案して、結論として「認定」の更新手続きはしないこととします。どうか会員みなさまにおかれましては、上記の趣旨をご理解していただき今回は「認定」の更新手続きを見送ることにご理解くださるようお願い申し上げます。

会員みなさまには常日頃から当会への温かい眼差しとご支援をいただき誠にありがとうございます。勝手ながら緊急な連絡事項ではありましたが今後ともよろしくご指導、ご協力をお願い申し上げます。

また、ご寄付いただいた財源をもとに、新たなチップパー機に更新出来ませんでした。現有機の修理と補修部品の購入をいたしました。ここに感謝申し上げます。

《編集後記》

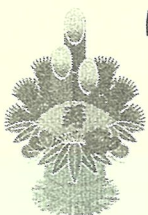
「認定NPO」の更新をしないことについて、ご報告することは慙愧に堪えません。しかし、岐阜県下で初めて自然環境保護団体で認可されたことは画期的で、我々も大きく前進したという気持ちでした。

しかし、現実には決して「認定化」という、看板だけでは当会のような自然環境団体では相当な努力とパワーと熱意がなければ生きて行かないことが良く分かりました。

その背景には会員の高齢化、新入会員の不足がありました。

これからの活動も地に足を付け、今までは変わらず行っていきたいと思います。

今年は兎年。飛んで跳ねて、元気になる年です。皆さんも健康に氣をつけて、飛躍の年にしましょう。



2023年 1 月・活動/打合せ予定

| 日 | 曜日 | 時間 | 活動内容 | 会場 | 対象 | 備考 |
|------|----|---------|-------------|--------|-------|----|
| 7 日 | 土 | 13 : 30 | どんど | 中津川河川敷 | 会員・一般 | |
| 10 日 | 火 | 9 : 00 | 炭窯開き | 雑木林窯 | 会員・一般 | |
| 12 日 | 木 | 9 : 00 | 事務所開き・拡大役員会 | 事務所 | 担当・役員 | |
| 16 日 | 月 | 9 : 00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 22 日 | 日 | 9 : 00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 24 日 | 火 | 9 : 00 | 定例作業日 | 雑木林窯 | 会員・一般 | |
| 25 日 | 水 | 9 : 00 | 企画会議 | 事務所 | 担当役員 | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |

2 月 イ ベ ント と 森 の 学 校 の 予 告

| | 行事内容 | 会場 | 備考 |
|-------|------|----|----|
| 日 () | | | |
| 日 () | | | |
| 日 () | | | |
| 日 () | | | |

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。

また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。

森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連あるご意見などをお寄せください。

関係の深い記事など通信に記載します。

イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会

理事長 河 内 龍 二

事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13

(TEL・FAX 0573-65-1366)

13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)

メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp

2023年 2 月・活動/打合せ予定

| 日 | 曜日 | 時間 | 活動内容 | 会場 | 対象 | 備考 |
|------|----|---------|-----------|------|-------|-------------|
| 5 日 | 日 | 13 : 30 | 拡大役員会 | 事務所 | 担当・役員 | |
| 12 日 | 日 | 9 : 00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 14 日 | 火 | 9 : 00 | 定例作業日 | 雑木林窯 | 会員・一般 | 場所の変更の可能性あり |
| 20 日 | 月 | 9 : 00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 22 日 | 水 | 13 : 30 | 通信発行・企画会議 | 事務所 | 担当役員 | |
| 26 日 | 日 | 9 : 00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 28 日 | 火 | 9 : 00 | 定例作業日 | 雑木林窯 | 会員・一般 | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |

3 月 イ ベ ン ト と 森 の 学 校 の 予 告

| | 行事内容 | 会場 | 備考 |
|-------|------|----|----|
| 日 | | | |
| 日 | | | |
| 日 | | | |
| 日 () | | | |

編集部連絡: 原稿締切は毎月20日です。
 また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。
 森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連ある
 ご意見などをお寄せください。
 関係の深い記事など通信に記載します。
 イラストなどもお寄せください。

発行責任者: NPO法人恵那山みどりの会
 理事長 河内 龍二
 事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13
 (TEL・FAX 0573-65-1366)
 13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)
 メールアドレス: midorinokai@wine.ocn.ne.jp